

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) J F E 鋼板株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎 イーストタワー9階	
本票作成	部署名： 玉島製造所 製造部				
主たる業種	分類コード	2 2	業種名： 鉄鋼業		
事業の概要	溶融亜鉛めっき鋼板および鋼帯、各種塗装鋼板および鋼帯その他薄板の製造・販売。従業員数123名、製造所1、事業所1。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	玉島製造所		倉敷市玉島乙島8252-11	
	②	岡山営業所		岡山市北区中山下1丁目8番4号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タンク250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成28年度		～	平成30年度		(3 箇年度)					
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準		目標削減率	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満	○
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準									
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成27年度)					目標年度 (平成30年度)					
	33,996 t CO <sub>2</sub>					32,976 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成27年度) の排出量							
	①	玉島製造所		33,993 t CO <sub>2</sub>							
	②	岡山営業所		3 t CO <sub>2</sub>							
				t CO <sub>2</sub>							
				t CO <sub>2</sub>							

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	生産数量 (千 t)	t CO <sub>2</sub> / (千 t)	基準年度	目標年度
			131	127

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (年度)	達成率 (%)
	なし			

【目標削減率設定の基本的な考え方】

省エネ法による中期的エネルギー原単位低減目標である年率1%以上を目標として活動している。平成27年度基準の3%削減を平成30年度の目標値とした。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

平成17年11月、ISO14001認証取得、環境マネジメントシステムを導入。  
製造所長を環境管理責任者、技術管理部長を環境管理推進者とし、省エネルギー項目をマネジメントプログラムに取り入れ、目標削減率達成のための活動を推進している。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
玉島製造所	H25年度 低損失変圧器への更新、天井照明更新 H26年度 照明のLED化推進 H27年度 脱臭炉バーナーの空燃比制御導入、照明のLED化推進 上記に加え、クールビズ・ウォームビズ運動や溶融亜鉛めっき製造ライン、塗装鋼板製造ラインの生産性向上による原単位削減を継続的に取り組んでいる。

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
玉島製造所	①各燃焼バーナーの調整・改善による高効率化（省燃料） ②受電設備（高効率変圧器）の更新（省電力） ③めっき装置用高圧高効率ブロー更新（省電力） ④ファン・ブロー回転数制御の運転適正化（省電力） ⑤空調設備や照明設備の高効率化（省電力） ⑥溶融亜鉛めっき製造ライン、塗装鋼板製造ラインの生産性向上（省電力・省燃料） ⑦クールビズ・ウォームビズ運動の継続（省電力） ⑧検討課題 ・脱臭炉の触媒化or蓄熱式への更新 ・焼鈍炉加熱帯のファイバー化、Uチューブ化

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--